

悠久の歴史と近代産業発祥の地 唐山市

・概況

唐山市は河北省の東部にあり、東は秦皇島市と境を接し、西は北京と天津と隣接し、南は渤海湾、北は燕山に囲まれている。

総面積は 13,472 平方キロ、人口は 753 万人、その中の都市部人口は 319.7 万人である。

唐山市は歴史の悠久の宝庫で、市内の多くの所で早期人類文明の遺物が発見されている。唐山市は河北省唯一の全国文明都市を受賞した都市である。



・世界文化遺産と国無形文化遺産

唐山市の清東陵は中国で現存する規模が最も大きな帝王陵墓群で、2000 年に世界文化遺産に登録された。



唐山市の「皮影劇」は 2006 年に国の無形文化遺産に指定されました。「皮影劇」というのは動物の皮やボール紙製の人物や鳥獣などを模した人形を灯火で照らして、壁や紙などのその影を映して、唐山市の地方方言で演劇する影絵芝居である。



・唐山大地震

1976年7月28日に唐山は世界を驚かせるマグニチュード7.8の大きな地震が起こり、唐山市は一瞬にして廃墟になった。唐山市を復興させるために、唐山市の皆さんは中国政府の指導の下、大変頑張られた。また、それを記念するために、抗震記念壁、抗震記念館などが建設され、その努力を後世へ伝えている。



抗震記念壁



抗震記念館

・産業

唐山は中国近代工業文明の発祥地である。中国初の蒸気機関車、初の衛生用の陶磁器など「七つの中国第一」が誕生した。「中国近代工業の揺りかご」と「中国北方陶磁器の町」と呼ばれている。逸品の鉄鋼、基礎エネルギー、良質な建築材料、装備製造、化学工業など五つの柱となる産業を形成し、全国の重要なエネルギー原材料基地と重工業都市に発展した。



唐山市の陶磁器



開滦炭鉱

・唐山市の観光地



曹妃甸湿地



唐山湾国際旅遊島